

ご紹介のお願い

2024年1月11日(木)

現代アートにおける“若手作家の登竜門”

『VOCA展 2024 現代美術の展望－新しい平面の作家たち』開催！

=VOCA (ヴォーカ) 賞／大東 忍さん =

会期：2024年3月14日(木)～30日(土)／会場：上野の森美術館

「VOCA展」実行委員会および公益財団法人日本美術協会 上野の森美術館は、来る3月14日(木)から3月30日(土)までの17日間にわたり、『VOCA展2024 現代美術の展望－新しい平面の作家たち』(The Vision of Contemporary Art／特別協賛：第一生命保険株式会社)を上野の森美術館(東京都台東区)で開催します。

■新進気鋭の作家31人が出品する展覧会

『VOCA展2024』に出品するのは、これからを期待される新進気鋭の作家31人です。この中から、グランプリとなるVOCA賞には秋田県秋田市在住(愛知県出身)の大東 忍さん《風景の拍子》が決定した他、VOCA奨励賞には上原 沙也加さん、片山 真理さん、VOCA佳作賞には佐々 瞬さん、笹岡 由梨子さんの作品が選出されました。

また、大原美術館賞には上原 沙也加さんの作品が、同美術館の選考により選出されました。*詳細は別紙参考資料をご参照ください。

■国際的に通用する若手作家の支援を目的に、1994年より開催

「VOCA展」は、現代アートにおける平面の領域で、国際的にも通用するような将来性のある若い作家の支援を目的に、1994年より毎年開催している美術展です。日頃から多くの作家をリサーチしている全国の美術館学芸員、研究者、ジャーナリストなどから推薦委員を選出し、それぞれ40歳以下の作家1名(組)を推薦していただき、推薦された作家全員に展覧会への出品を依頼しています。こうしたシステムにより、全国各地で活躍する優れた未知の才能を毎回紹介、昨年は30年を迎え、過去のVOCA賞作品を一堂に会す記念展を開催いたしました。



■やなぎ みわ、蜷川 実花など多方面で活躍する作家を輩出

これまで「VOCA展」に出品した作家は、今回の『VOCA展2024』を含め、延べ1,044人(組)。福田 美蘭(1994年VOCA賞)、やなぎ みわ(1999年VOCA賞)、蜷川 実花(2006年大原美術館賞)、清川 あさみ(2010年佳作賞)、Nerhol(2020年VOCA賞)、永沢 碧衣(2023年VOCA賞)など多方面で活躍している作家たちが出品しています。この間VOCA展は「平面」という一貫した切り口で若い世代が描く絵画の動向を反映しながら、まさに「今日の美術」を見せてきました。

■第一生命ロビー・ギャラリーでの展示 ※詳細は最終頁参照

1994年の第1回開催より「VOCA展」を特別協賛している第一生命保険株式会社(以下第一生命)は、VOCA賞等受賞作品を所蔵し、本社1階にあるロビーや第一生命ギャラリーで定期的に公開しています。

■公式ページで「VOCA展」の情報を公開

最新情報は、上野の森美術館ホームページ(www.ueno-mori.org/)内で随時公開します。

■VOCA 賞

* 各作品のサイズは「出品作品一覧」をご参照ください。

作家名	生年	現住所	作品名	素材
大東 忍 (だいとう しのぶ)	1993	秋田県	風景の拍子	木炭、麻布・パネル

■VOCA 奨励賞

作家名	生年	現住所	作品名	素材
上原 沙也加 (うえはら さやか)	1993	沖縄県	幽霊たちの庭	アーカイバルピグメントプリント、額
片山 真理 (かたやま まり)	1987	群馬県	red shoes #001 red shoes #002 red shoes #003	C-print

■VOCA 佳作賞

作家名	生年	現住所	作品名	素材
佐々 瞬 (ささ しゅん)	1986	宮城県	そこに暮らす人々は自らの歴史を記した	追廻住宅の家屋部材、同住宅ふとんカバー、アクリル、謄写版原紙（ガリ版ろ原紙）、鉛筆、額
笹岡 由梨子 (ささおか ゆりこ)	1988	滋賀県	Animale／ベルリンのマーケットで働くクマ	レンチキュラー印刷・パライフィン・絵の具・ぬいぐるみ・古着・LED ライト、木枠・かざり板・パネル・モニター・メディアプレーヤー・スピーカー（映像 1 分 20 秒）

◇選考委員（上記各賞については、以下の選考委員により選考）

植松 由佳（選考委員長／国立国際美術館学芸課長）
 荒木 夏実（東京藝術大学准教授）
 川浪 千鶴（インディペンデント・キュレーター）
 丹羽 晴美（東京都現代美術館事業企画課長）
 前山 裕司（新潟市美術館特任館長）

■大原美術館賞 ※同美術館独自の選考を経て決定。

作家名	生年	現住所	作品名	素材
上原 沙也加 (うえはら さやか)	1993	沖縄県	幽霊たちの庭	アーカイバルピグメントプリント、額

- 委員長： 植松 由佳 （国立国際美術館学芸課長）
- 副委員長： 竹内 章二 （第一生命保険株式会社 取締役常務執行役員）
- 委員： 荒木 夏実 （東京藝術大学准教授）
- 丹羽 晴美 （東京都現代美術館事業企画課長）
- 川浪 千鶴 （インディペンデント・キュレーター）
- 前山 裕司 （新潟市美術館特任館長）
- 後藤綾沙子 （第一生命保険株式会社 アシスタントマネジャー）
- 坂元 暁美 （上野の森美術館学芸課長）

「VOCA 展 2024」 開催概要

- ◆ **名 称** VOCA展2024 現代美術の展望－新しい平面の作家たち
- ◆ **主 催** VOCA展実行委員会、公益財団法人日本美術協会 上野の森美術館
- ◆ **特別協賛** 第一生命保険株式会社
- ◆ **会 場** 上野の森美術館（東京都台東区上野公園1-2）
- ◆ **会 期** 2024年3月14日（木）～3月30日（土）〔17日間／会期中無休〕
- ◆ **開館時間** 10:00～17:00 ※入場は閉館30分前まで
- ◆ **入 場 料** 一般800円、大学生400円、高校生以下無料 ※料金はすべて税込み
ペア券（2枚セット）1300円 ※ペア券の販売期間は3月13日（水）まで。数量限定につき予定枚数に達し次第販売終了となります。
- ◆ **チケット** チケットぴあ(Pコード：686-799)、ローソンチケット(Lコード：34826)、e+(イープラス)、アソビュー（<https://www.asoview.com/channel/tickets/T2palz5EZw/>）、主要コンビニエンスストア店頭で販売
※手数料がかかる場合があります。
※障害者手帳をお持ちの方と付添の方1名は無料（要証明）。
※日時指定は不要です。
※最新情報をHPでご確認ください。事前予約なしでご入場いただけますが、混雑時に入場制限を行う場合があります。
- ◆ **推薦委員** VOCA展実行委員会から選出された、全国的美術館学芸員、研究者、ジャーナリストなどに、作家1名（組）の推薦を依頼
- ◆ **出品作家**
 - ・推薦委員の推薦に基づき、VOCA展実行委員会より依頼した作家、国籍不問
 - ・1983年4月1日以降生まれ（40歳以下）※同展会期中（2024年3月）に40歳以下であること
 - ・過去30回開催した「VOCA展」の出品作家（受賞者含む）も可
- ◆ **出品作品**
 - ・平面作品。抽象、具象、素材は問わない
 - ・出品時からさかのぼって1年以内に制作された、未発表の作品
 - ・作品サイズは、250cm x 400cm以内の壁面（タテ形、ヨコ形は不問）に展示できるもの
 - ・作品の厚さは、20cm以内
 - ・作品の重量は、総重量80kg以内、個々で40kg以内
 - * 展示に支障をきたす作品は不可
 - * 作品は第三者の権利（著作権、肖像権など）を侵害しないこと
- ◆ **選考委員** 植松 由佳（選考委員長／国立国際美術館学芸課長）
荒木 夏実（東京藝術大学准教授）
川浪 千鶴（インディペンデント・キュレーター）
丹羽 晴美（東京都現代美術館事業企画課長）
前山 裕司（新潟市美術館特任館長）
- ◆ **賞**

VOCA賞	1名	正賞および副賞（300万円）
VOCA奨励賞	2名	正賞および副賞（50万円）
VOCA佳作賞	2名	正賞および副賞（10万円）
大原美術館賞	1名	正賞のみ

※VOCA賞、VOCA奨励賞、VOCA佳作賞は選考委員が選考します。
※選考により、「該当者なし」のこともあります。
※VOCA賞は、第一生命保険株式会社の収蔵作品となります。
※大原美術館賞は、館の代表者がVOCA賞以外から選定し、作者の了解のもと同館の収蔵作品候補となります。
※受賞者全員に第一生命ギャラリーでの個展の機会が与えられます。
※受賞者が反社会的勢力に該当する、もしくは反社会的勢力と何らかの交流・関与を行っている主催者が判断した場合は受賞を取り消すことがあります。
※第一生命保険株式会社は、VOCA展の運営サポートを行うほか、受賞作品を収蔵し本社1階にあるロビーでの展示や、第一生命ギャラリー所蔵作品展で同作品の定期的な公開を行っています。
また、受賞者による同ギャラリーでの個展も随時開催しています。

VOCA賞を受賞した大東さんは秋田県秋田市在住(愛知県出身)。ひと気のない街や辺境地を歩き、夜の暗がりのなかで踊り、その風景を描くということを繰り返してきました。受賞作《風景の拍子》は秋田の新屋地域の風景を題材としています。木炭で丹念に描かれた黒白の画面には吸い込まれそうな深い奥行きと広がりがあり、ありふれた風景のなかに記憶や痕跡、時間といった見えないものを見せる力が高く評価されました。推薦者は石倉敏明 氏(秋田公立美術大学准教授 人類学者)。



VOCA 賞 大東 忍 (だいてう しのぶ)

《風景の拍子》

木炭、麻布・パネル 130.3×388.0×3.0 cm

●VOCA 賞受賞者 ^{だいてう しのぶ} 大東 忍 さんのコメント

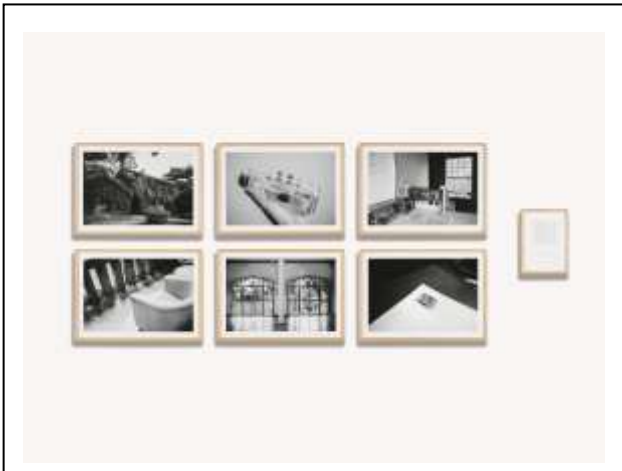
夜の深い影は様々なことを含んでいて、その土地でこれまでにあった、もしくはあったはずの営みを物語っているように感じます。そんな風景の一部に自身がなりながら風景に寄り添い、語りに耳や身体を傾けます。その方法がわたしにとっては歩き、踊り、そして描くことです。秋田市のひとつの風景を描いた本作ですが、背後には無数の名前のない風景が折り重なっています。そんな作品がたくさんの人に開かれることを嬉しく思います。

◇推薦者 石倉 敏明 氏(秋田公立美術大学 准教授・人類学者)のコメント(会場用推薦文より)

大東は見知らぬ辺境地を一人で歩き、静かに、暗がりのなかで踊る。それは「風景を踏みならす」実践であり、自身が踊る光景をもとに、木炭画を描くプロセスの一部でもある。木炭の濃淡によって示される世界像は、想像と現実、固有性と匿名性、主体と環境の関係を揺るがし、風景にひそむ未知のリズムを浮かび上がらせる。

「VOCA 展 2024」 その他の受賞作品

【VOCA奨励賞】



上原 沙也加

《幽霊たちの庭》

アーカイバルピグメントプリント、額

62.8×87.5×4.2cmが6枚、42.5×32.1×3.5cmが1枚



片山 真理

《red shoes #003》《red shoes #001》《red shoes #002》

C-Print

202.2×126.9×0.2 cmが 3 枚

【VOCA佳作賞】



佐々 瞬

《そこに暮らす人々は自らの歴史を記した》

追廻住宅の家屋部材、同住宅ふとんカバー、アクリル、
謄写版原紙（ガリ版ろう原紙）、鉛筆、額

220.0×155.0×20.0 cmが 1 枚、48.0×36.0×3.0 cmが 11 枚



笹岡 由梨子

《Animale／ベルリンのマーケットで働くクマ》

レンチキュラー印刷・パラフィン・絵の具・ぬいぐるみ・
古着・LED ライト、木枠・かざり板・パネル・モニター・
メディアプレーヤー・スピーカー（映像 1 分 20 秒）

265.0×321.0×20.0 cm

【大原美術館賞】



上原 沙也加 《幽霊たちの庭》

アーカイバルピグメントプリント、額

62.8×87.5×4.2cmが6枚、42.5×32.1×3.5cmが1枚

※ご掲載にあたり、「VOCA展2024」の作品画像
のご要望につきましては、広報事務局にて承ります。

VOCA展広報事務局 担当：白井、沼澤

Tel：03-3664-3831

Email：voca2024@windam.co.jp

植松 由佳(選考委員長／国立国際美術館学芸課長)

今年も VOCA 展の特徴である「平面」の多様性を感じる審査であった。いわゆる技法や素材による多様性という意味だけではなく、自身の居住地あるいは特定の土地に依拠したリサーチを経た作品からは、国内各地で制作を続ける作家たちの力強い声を感じた。VOCA 賞の秋田の景色そして踊るという行為をモチーフに、木炭による静謐なモノクロームの世界観を見せた大東忍の作品、また場所の歴史と真摯に向き合った奨励賞の上原沙也加、佳作賞の佐々瞬の作品などが印象に残った。

荒木 夏実(東京藝術大学准教授)

VOCA 賞を受賞した大東忍の作品は、木炭独特の持ち味、闇と光が照らし出す風景、そして見る人の視点を引き寄せる踊る人物が、絵画の魅力を存分に表現していた。上原沙也加の台湾と沖縄をつなぐ写真、片山真理の複数の手が履く赤いハイヒール、佐々瞬の自身と場所の過去を映す風景、笹岡由梨子の明るさに隠された社会のできごとなど、どの受賞作もユニークな物語を喚起させるものだった。自己の体験と関心を起点に外界へと開かれていく表現に可能性を感じた。

川浪 千鶴(インディペンデント・キュレーター)

平面作品は本当にさまざまな有り様と可能性を持っている。毎回そうなのだが今回の審査においても、その事実には感慨深いものがあつた。大東忍は木炭だけで固有性と匿名性を併せ持つ印象的な風景を、佐々瞬は身体性が強いガリ版を使って土地に潜む記憶を描き切った。場の気配を巧みに編み直す上原沙也加、自画像の強度を高めている片山真理、メディアミックスの巧者笹岡由梨子らは、写真や映像表現の深化がここまで進んだことを教えてくれる。

丹羽 晴美(東京都現代美術館事業企画課長)

今回、初めて審査に参加させていただき、いずれも力作、秀作で刺激的な経験をさせていただいた。

社会背景や歴史と個人の記憶を呼応させる作品や、その中でも説明の域を超え表現として突出した強さがあるものの印象が残った。また、二次元の限られた空間で表現することの難しさを改めて感じると共に、その空間を前にした時の視野や身体の反応に対して有効な表現があると思った。

前山 裕司(新潟市美術館特任館長)

ほかの委員の考えていることは選考途中までわからなかったが、結果は意外なほど圧倒的で、VOCA 賞は全員がほぼ高得点を投じた大東忍さんとなった。大東さんの《風景の拍子》という作品にどのように惹きつけられたのか、自分でまだ分析できてないが、他の委員の高得点の理由も論考で読むことを楽しみにしている。ところで、秋田をテーマとした作品が、昨年に続き2連覇となったことに気づいたのは、審査が終わってしばらく経ってからだった。

『VOCA 展 2024』 出品作品一覧<作家 31 名／50 音順>

作家名	生年	現住所	作品タイトル	素材	作品サイズ
上原 沙也加 (うえはら さやか)	1993	沖縄県	幽霊たちの庭	アーカイバルピグメントプリント、額	62.8×87.5×4.2 cmが 6 枚、 42.5×32.1×3.5 cmが 1 枚
ウチダリナ (うちだ りな)	1990	東京都	聲のしないまど	紙・PVC 袋・リボン・プラスチック・布・透明フィルム・紐・アクリル	22.0×30.0×1.0 cmが 100 点
大橋 鉄郎 (おおはし てつろう)	1994	北海道	無題 (ピースシリーズ)	インクジェットプリント	250.0×400.0 cm
大山 智子 (おおやま ともこ)	1985	茨城県	SETOUCHI	油彩、カンヴァス	249.0×399.0×3.5 cm
小左 誠一郎 (おさ せいいちろう)	1985	静岡県	百合	油彩、カンヴァス	265.0×164.0×4.5 cm
長田 奈緒 (おさだ なお)	1988	東京都	Spill (on wooden board)	シルクスクリーン、UV インクジェット、アクリル系塗料、木材、アクリル板	245.0×360.0×2.2 cm
小山 維子 (おやま ゆきこ)	1993	神奈川県	二重奏 左：あらわれることについて 右：ふれることについて	左：油彩、コットンリネン・木枠 右：油彩・パステル、ワッシャーシーチング・木枠	162.0×97.0×3.5 cmが 2 枚
片山 真理 (かたやま まり)	1987	群馬県	red shoes #001 red shoes #002 red shoes #003	C-print	202.2×126.9×0.2 cmが 3 枚
亀岡 倫太郎 (かめおか りんたろう)	1999	東京都	GO TO TRAVEL	インクジェットプリント、額	169.6×239.2×2.9 cm
木下 理子 (きのした りこ)	1994	東京都	Living Room Cosmology	アクリル塗料・樹脂粘土、寒冷紗・ブッシュピン	180.0×320.0×5.0 cm
顧 剣亨 (こ けんりょう)	1994	京都府	Waves Under the midnight sun_5 Waves Under the midnight sun_6 Waves Under the midnight sun_7	インクジェットプリント、アルミ複合板マウント、額	90.0×123.0×4.0 cmが 3 枚
小林 勇輝 (こばやし ゆうき)	1990	東京都	梅二月	厚紙・アクリル板・額・鉄製模造刀・モニター、映像 (14 分 13 秒、音声あり)	137.1×93.1 cmが 2 点、26.0×34.5 cmが 2 点、45.0×14.0×2.5 cmが 2 点、42.0×71.5×10.8 cmが 1 点
斉藤 思帆 (さいとう しほ)	1988	東京都	Between Past and Future	アクリル・油彩、和紙、樹脂粘土、紙粘土、光学ガラス、木材	170.0×204.0 cm、13.0×20.0×6.5 cm、16.0×16.0×4.0 cm、20.0×35.0×12 cm、2.5×225.0×15.0cm が各 1 点
佐々 瞬 (ささ しゅん)	1986	宮城県	そこに暮らす人々は 自らの歴史を記した	追廻住宅の家屋部材、同住宅ふとんカバー、アクリル、膺	220.0×155.0×20.0 cmが 1 枚、48.0×36.0×3.0 cmが 11 枚

				写版原紙（ガリ版ろう原紙）、 額、鉛筆	
笹岡 由梨子 （ささおか ゆりこ）	1988	滋賀県	Animale／ベルリン のマーケットで働く クマ	レンチキュラー印刷・パラフ イン・絵の具・ぬいぐるみ・ 古着・LEDライト、木枠・か ざり板・パネル・モニター・ メディアプレーヤー・スピー カー（映像1分20秒）	265.0×321.0×20.0 cm
しまうち みか （しまうち みか）	1987	宮崎県	We are on fire わたしたちは最高	アクリル・油彩・コラージュ、 ドンゴロス・カンヴァス	194.0×391.0×9.0 cm
しまだそう （しまだそう）	1983	大阪府	彼の見た UFO、彼 女の左頬、そして僕 が見つけた聖杯	アクリル、綿カンヴァス・木 枠	227.3×363.6×3.7 cm
大東 忍 （だいとう しのぶ）	1993	秋田県	風景の拍子	木炭、麻布・パネル	130.3×388.0×3.0 cm
田中 彰 （たなか しょう）	1988	茨城県	Memory of Roots / Roots of Memory	水溶性油性インク、西ノ内和 紙	253.0×361.0×3.0 cm
千原 真実 （ちはら まみ）	1985	東京都	風景 L	鉛筆・マーカー・ペンキ・ジ ェッソ、カンヴァス・ボン ド・アクリル板・パネル・ビ ス	162.0×194.0×3.0 cmが1枚、 162.0×197.3×8.0 cmが1枚
堤 千春 （つつみ ちはる）	1999	石川県	Suppress	アクリル、カンヴァス	194.0×390.0×3.0 cm
中村 絵美 （なかむら えみ）	1988	北海道	非在の島、あるいは 逆流の生理	インクジェットプリント、タ ーボリン・パネル	154.0×142.0×6.7 cm
中山 晃子 （なかやま あきこ）	1988	神奈川県	半球体の肖像	モニター・Mac mini M2・ Mac mini・映像（2分4秒、 音声なし）	123.5×70.7×4.6 cmが5点
ヌケメ （ぬけめ）	1986	千葉県	WORLD MAP♡	糸、カンヴァス・木枠	53.0×53.0×3.0 cmが12枚
東山 詩織 （ひがしやま しおり）	1990	東京都	Formation chart	水彩・色鉛筆・オイルパステ ル、和紙・パネル	162×324×4.5 cm
肥後 亮祐 （ひご りょうすけ）	1995	京都府	絵画原器	ミクストメディア、映像（6 分43秒、音声あり）	250×400×20cm
前田 春日美 （まえだ かすみ）	1991	東京都	Harness	アクリルガッシュ、アルミ・ アクリル板・モニター・映像 （7分27秒、音声なし）	176.0×80.0×20cmが1点、 35.4×61.4×3.8cmが1点
松延 総司 （まつのべ そうし）	1988	滋賀県	1. Pattern of Dark #2 (Wall) 2. Pattern of Dark #49 (Wall)	インクジェットプリント、 紙・木材	250.0×175.0×10.0 cmが2枚
松元 悠 （まつもと はるか）	1993	滋賀県	サラバ化物（御徒町 のパジャマ3枚、や っぱりやめよう、先 生大丈夫入るよ）	リトグラフ・BFK紙・切符	79.0×108.0×3.0 cmが3枚 23.0×31.5×3.5 cmが1枚、
宮内 裕賀 （みやうち ゆか）	1985	鹿児島県	生かされていくこと	イカ胡粉・アラビアゴム・セ ピアインク、カンヴァス	240.0×390.0×4.0 cm
山下 耕平 （やました こうへい）	1984	福岡県	自室の模様	アクリル絵具・ジェルメディ ウム、ラワン合板・木製パネ ル	230.0×160.0×6.5 cmが2枚

「VOCA2024」関連企画

■【同時開催】

展覧会名：「小西真奈 Gardens」

日時：3月14日（木）～30日（土）10:00～17:00

場所：上野の森美術館ギャラリー

過去のVOCA展出品者の中から、学芸員がとくに注目するアーティストを選んで開催する個展シリーズです。

小西真奈は「VOCA展2006」でVOCA賞を受賞。今回の個展では、小西が近年コロナ禍を経て身近な植物園や温室などを題材に描いてきた油彩や、ドローイングを展示します。

《Reservoir 2021》

油彩、カンヴァス

45.5x38.0cm



■VOCA展シンポジウム

「VOCAの現在」

パネリスト（予定）：受賞作家、選考委員

2024年3月13日（水） 14:00～16:00

定員100名（要申込）＊2月19日（月）よりホームページで受付いたします。

<https://www.ueno-mori.org>

■アーティスト・トーク

受賞作家に作品について語っていただきます。

3月16日（土）15時～ 大東忍（VOCA賞）、上原沙也加（VOCA奨励賞・大原美術館賞）、片山真理（VOCA奨励賞）

3月23日（土）15時～ 佐々 瞬（VOCA佳作賞）、笹岡由梨子（VOCA佳作賞）

■東京・春・音楽祭 ミュージアム・コンサート

今年も－東京オペラの森2024－のプログラムとして、VOCA展展示室内でミュージアム・コンサートを開催します。現代美術の展示される会場で聴く現代音楽は普段では味わえない格別な時間をお届けいたします。

3月19日（火）19時～

3月25日（月）19時～

＊チケットのご購入等、詳しくは音楽祭の公式サイトをご参照ください。 <https://www.tokyo-harusai.com>

■第一生命ロビー・ギャラリーでの展示

場所：東京都千代田区有楽町1-13-1 第一生命保険株式会社 日比谷本社1F

1994年の第一回開催より「VOCA展」を特別協賛している第一生命は、VOCA賞等受賞作品を所蔵し、本社1階にあるロビーや第一生命ギャラリーで定期的に公開しています。

展覧会名	会期
Colorful	2024年3月14日（木）～11月30日（土） 8:00～20:00 ※無料・無休 ※本展はロビーでの展示となります。

※以上本リリースにおいてご案内している開館日、時間、内容等につきましては、状況により変更になる可能性があります。最新の情報は上野の森美術館のHPでご確認ください。 www.ueno-mori.org/

《本件に関するお問合せ先》

VOCA 展広報事務局（株式会社ウインドム内 担当：白井、沼澤）

TEL：03-3664-3831／Email：voca2024@windam.co.jp

上野の森美術館（担当：岡里、大柳）TEL：03-3833-4191

第一生命保険株式会社（担当：後藤、秋元）TEL：050-3780-6950